

静岡県西部の中小企業 景気動向（2018年7～9月期の景況）

磐田市商工会

1、当資料の目的

会員企業の持続的発展を図るため、地域の景気動向を把握し経営革新等の支援をする際の基礎資料として活用する。

2、情報源

下記調査機関の調査結果を基に景気動向を取りまとめた。

- ①一般社団法人しんきん経済研究所発行 景況レポート 2018年7～9期
- ②日本銀行静岡支店 静岡県の企業短期経済観測調査結果 2018年9月調査

3、調査概要

①一般社団法人しんきん経済研究所

- ・調査対象 静岡県西部地域の中小企業661社
- ・回収状況 回収数652社（回収率98.6%）
（製造業328社、卸売業82社、小売業70社、建設業73社、サービス業39社、飲食等14社、不動産業46社）
- ・調査方法 調査表による面接聴取法
- ・調査内容 前期（2018年4～6月期）と当期（2018年7～9月期）との比較
当期と比較した来期（2018年10～12月期）の予想
- ・調査時期 2018年9月3日～8日




②日本銀行静岡支店

- ・調査対象 静岡県内企業283社（大企業58社、中堅企業77社、中小企業148社）
- ・調査内容 前期（2018年4～6月期）と当期（2018年7～9月期）との比較
当期と比較した来期（2018年10～12月期）の予測
- ・回答期間 2018年8月27日～9月28日

③分析方法

景況判断の基準として、DI（Diffusion Index）による分析手法を採用している。
各質問項目でプラス傾向（増加、上昇、好転など）割合からマイナス傾向（減少、下降、悪化など）割合を差し引いた数値を時系列で観察することにより景況を判断する手法。

4、【全般】2018年7～9月期の概況

しんきん経済研究所の見解 「業況DIはやや悪化ながら、引き続き高水準を維持している」		
前期の業況	今期の業況	次期見通し
		
日本銀行静岡支店の見解 「県内の景況感は横ばい」		

無記入項目は日本銀行静岡支

業種	調査機関	調査数	前期の業況 DI	今期の業況 DI	次期見通し
全産業	しんきん経済研究所	652社	5.5	2.8	6.9
	日本銀行静岡支店	283社	14.0	14.0	8.0
製造業	しんきん経済研究所	328社	11.1	6.1	8.8
	日本銀行静岡支店	134社	15.0	20.0	12.0
小売業	しんきん経済研究所	70社	▲18.3	▲2.9	▲4.3
	日本銀行静岡支店	—社	6.0	6.0	0.0
建設業	しんきん経済研究所	73社	8.6	2.7	15.1
	日本銀行静岡支店	—社	0.0	7.0	▲3.0
飲食レジャー等	しんきん経済研究所	14社	▲5.3	▲35.7	▲28.6
	日本銀行静岡支店	—	—	—	—

店から公表されていない。

(1) 全産業の概況

①しんきん経済研究所の調査結果

- ・ 県西部地域の中小企業の業況判断指数 (DI = 「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値) は全業種ベースで2.8となり、2018年6月の前回調査 (5.5) と比べて2.7ポイントの悪化となった。若干悪化したものの2017年9月から続くプラス水準を維持し、業況の水準は引き続き高い。
- ・ 次期の業況 DI は4.1ポイント改善の6.8を見込む。

②日本銀行静岡支店の調査結果

- ・ 静岡県内企業283社 (大企業58社、中堅企業77社、中小企業148社) を調査した結果、業況判断指数は全業種ベースで6月の前回調査に比べ横ばいの14.0だった。業況の水準は引き続き高い。
- ・ 次期の業況 DI は6.0ポイント悪化の8.0を見込む。今後の懸念材料としては、燃料費や人件費の上昇、設備投資の償却負担などが挙げられる。
- ・ 全国では自然災害などで景況感の足踏みが鮮明になっているが、県内では影響が小さい。

③双方の調査から

- ・県内企業の業況 DI は前期と比べ横ばい或いは若干悪化しているものの、プラス水準を維持し、業況の水準は引き続き高い。
- ・両社の間には DI 値に差があるが、日本銀行静岡支店の調査対象は大企業&中堅企業が 48% を占めているためと推測する。(しんきん経済研究所の調査対象は中小企業が 100%)

(2) 業種別の概況

①しんきん経済研究所の調査結果

- ・業種別では小売が改善した。製造、卸売、建設、飲食レジャー等は悪化となった。
- ・ただし、製造、建設はプラス水準にある。
- ・次期の業種別の業況DI予測は、製造業、建設業では更なる改善、一方小売業では1.4割の悪化を見込む。
- ・「年度末に向けて建設業で公共工事が増え、自動車も引き続き好調を維持する」と分析。




②日本銀行静岡支店の調査結果

- ・業種別では製造業、建設業が改善し、小売業は横ばいであった。
- ・製造業、小売業、建設業の業況 DI はいずれもプラス水準にある。
- ・次期の業種別の業況 DI 予測は、製造業、小売業、建設業では6～10割の悪化を見込む。

③双方の調査から

- ・業種別では、製造業、建設業はプラス水準にあり好況である。
- ・中小の小売業に改善が見られる。
- ・次期の製造業と建設業の業況 DI 予測には、両者の間には差があるが、企業規模の大小によって景況感に差があると推測される。(日本銀行静岡支店の調査対象は大企業&中堅企業が48%を占めている)

5、【製造業】2018年7～9月期の状況

しんきん経済研究所の見解		
「3四半期連続の悪化ながら、プラス水準を維持している」		
前期の業況	今期の業況	次期見通し
		
日本銀行静岡支店の見解		
「緩やかに拡大している」		

製造業	調査機関	前期の業況 DI	今期の業況 DI	次期見通し
製造業全般 良い－悪い	しんきん経済	11.1	6.1	8.8
	日本銀行静岡	15.0	20.0	12.0
売上高 増加－減少	しんきん経済	1.8	6.4	12.8
	日本銀行静岡	—	—	—
収益 増加－減少	しんきん経済	▲3.0	▲0.6	10.1
	日本銀行静岡	—	—	—
販売価格 上昇－下降	しんきん経済	1.2	1.5	1.5
	日本銀行静岡	▲4.0	▲4.0	0.0
原材料価格 上昇－下降	しんきん経済	30.7	25.6	19.6
	日本銀行静岡	31.0	29.0	30.0
資金繰り 楽－苦しい	しんきん経済	0.9	▲2.7	▲0.3
	日本銀行静岡	—	—	—
人手 過剰－不足	しんきん経済	▲39.9	▲30.8	▲32.1
	日本銀行静岡	▲20.0	▲23.0	▲23.0
設備 過剰－不足	しんきん経済	▲18.9	▲21.3	▲23.0
	日本銀行静岡	▲3.0	▲4.0	▲1.0

※日本銀行静岡支店の売上高、収益、資金繰りの各 DI は公表されていない。

(1) 製造業の概況

①しんきん経済研究所の調査結果

- ・製造業全般の業況 DI は 5.0 ㊦悪化の 6.1 となった。3 四半期連続の悪化となったが、6 四半期連続してプラス水準を維持した。
- ・1992 年調査以来はじめて 20 を上回った 2017 年 12 月調査からは、徐々に悪化しているものの、引き続きプラス水準であり、過去と比べても高い水準にある。
- ・次期の業況 DI は 2.7 ㊦改善の 8.8 を見込む。
- ・売上高 DI は 6.4 ㊦の改善、収益 DI は 10.7 ㊦の改善を見込む。
- ・人手 DI は 4 四半期連続して -30 台を推移しており、人手不足感は引き続き強い。
- ・経営上の問題点（上位 3 点）
人手不足、売上の停滞・減少、工場の狭小・老朽化
- ・当面の重点経営施策（上位 3 点）
販路拡大、人材確保、経費節減

②日本銀行静岡支店の調査結果




- ・製造業全般の業況 DI は 5.0 ㊦改善の 20.0 となった。
- ・次期の業況 DI は 8.0 ㊦悪化の 12.0 を見込む。
- ・人手 DI は -20 台を推移しており、人手不足感は引き続き強い。
- ・米国と中国の貿易戦争が激しさを増し、世界経済の先いきには不透明感も漂う。

③双方の調査から

- ・製造業の業況 DI は引き続きプラス水準であり、過去と比べても高い水準にある。
- ・次期の業況 DI の変動見通しは両社で差があるが、いずれも高い水準を維持すると予想。

- ・人手不足感は引き続き強い。

6、【小売業】2018年7～9月期の状況

しんきん経済研究所の見解		
「業況DIは10ポイント超の改善、マイナス水準の解消間近」		
前期の業況	今期の業況	次期見通し
		
日本銀行静岡支店の見解		
「業界DIはプラス水準であり横ばい。次期は6.0ポイント悪化を見込む」		

小売業	調査機関	前期の業況DI	今期の業況DI	次期見通し
業況 良－悪	しんきん経済	▲18.3	▲2.9	▲4.3
	日本銀行静岡	6.0	6.0	0.0
売上高 増加－減少	しんきん経済	▲21.7	7.1	8.6
	日本銀行静岡	—	—	—
収益 増加－減少	しんきん経済	▲25.0	▲2.9	1.4
	日本銀行静岡	—	—	—
販売価格 上昇－下降	しんきん経済	11.7	8.6	11.4
	日本銀行静岡	—	—	—
仕入価格 上昇－下降	しんきん経済	16.7	21.4	24.3
	日本銀行静岡	—	—	—
資金繰り 楽－苦しい	しんきん経済	▲8.3	▲8.6	▲11.4
	日本銀行静岡	—	—	—
人手 過剰－不足	しんきん経済	▲18.3	▲27.1	▲22.9
	日本銀行静岡	—	—	—

※日本銀行静岡支店の売上高、収益、販売価格、仕入価格、資金繰り、人手の各DIは公表されていない。

(1) 小売業の概況

①しんきん経済研究所の調査結果

- ・業況DIは15.4ポイント改善の-2.9となり、マイナス解消目前の水準にある。
- ・売上高DIは28.8ポイントの改善、収益DIは22.1ポイントの改善となった。
- ・人手DIは-27.1であり、人手不足感は引き続き強い。
- ・調査員のコメントをみると、仕入価格上昇や人手不足が強まるなど、収益的に厳しいコメントが多くみられる。しかし、家電や自動車、他の小売店では販売好調なコメントも多くみられる。
- ・次期の業況DI予想は1.4ポイント悪化の-4.3となる。売上額DIは1.5ポイントの改善、収益DIは4.3ポイントの改善を見込む。
- ・経営上の問題点（上位3点）

- 売上の停滞・減少、同業者間の競争激化、人手不足
- ・当面の重点経営施策（上位4点）
 - 経費節減、宣伝・広告の強化、人材確保、品揃えの改善、

②日本銀行静岡支店の調査結果




- ・小売業の業況 DI は横ばいの 6.0 であった。
- ・次期の業況 DI は 6.0 対悪化の 0.0 を見込む。

③双方の調査から

- ・中小小売業の業況 DI は 10 対超の改善。プラス水準に今一步。

7、【建設業】2018年7～9月期の状況

しんきん経済研究所の見解
「業況は若干悪化も、5四半期連続のプラス水準にある。次期は改善」

前期の業況	今期の業況	次期見通し
		

日本銀行静岡支店の見解
「業況 DI はプラス水準にある。次期は 10.0 対悪化を見込む」

建設業	調査機関	前期の業況 DI	今期の業況 DI	次期見通し
業況 良い-悪い	しんきん経済	8.6	2.7	15.1
	日本銀行静岡	0.0	7.0	▲3.0
売上高 増加-減少	しんきん経済	▲1.4	12.3	24.7
	日本銀行静岡	—	—	—
受注残 増加-減少	しんきん経済	0.0	13.7	13.7
	日本銀行静岡	—	—	—
収益 増加-減少	しんきん経済	7.1	4.1	16.4
	日本銀行静岡	—	—	—
請負価格 上昇-下降	しんきん経済	1.4	1.4	1.4
	日本銀行静岡	—	—	—
材料価格 上昇-下降	しんきん経済	27.1	30.1	24.7
	日本銀行静岡	—	—	—
資金繰り 楽-苦しい	しんきん経済	▲1.4	▲1.4	▲6.8
	日本銀行静岡	—	—	—
※ 人手 過剰-不足	しんきん経済	▲38.6	▲38.4	▲45.2
	日本銀行静岡	—	—	—

本銀行静岡支店の売上高、収益、販売価格、仕入価格、資金繰り、人手の各 DI は公表されていない。

(1) 建設業の概況

①しんきん経済研究所の調査結果

- ・業界 DI は 5.9 ㊦悪化の 2.7 となった。悪化はしたものの若干の悪化であり、5 四半期連続でプラス水準を維持した。
- ・売上額 DI は 13.7 ㊦の改善、受注残 DI は 13.7 ㊦の改善、収益 DI は 3.0 ㊦の悪化となった。
- ・調査員のコメントをみると、民間工事・公共工事で明るいコメントが多くみられるほか、消費税前の駆け込み需要に向けて対応していく前向きなコメントも多くみられる。
- ・人手 DI は -38.4 であり、人手不足感は引き続き強い。
- ・次期の業況 DI 予想は 12.4 ㊦改善の 15.1 となる。売上額 DI は 12.4 ㊦の改善、収益 DI は 12.3 ㊦の改善を見込む。年度後半に向けて工事が増えていくものとみられる。

②日本銀行静岡支店の調査結果




- ・建設業の業況 DI は 7.0 ㊦改善し、プラス 7.0 になった。
- ・次期の業況 DI は 10.0 ㊦悪化の -3.0 を見込む。

③双方の調査から

- ・建設業の業況 DI はいずれもプラス水準にあり好況である。

8、【飲食・宿泊・レジャー等】2018年7~9月期の状況

しんきん経済研究所の調査結果

しんきん経済研究所の見解		
「業界 DI 大きく悪化、猛暑で客足遠のく」		
前期の業況	今期の業況	次期見通し
		

飲食・宿泊・レジャー等	前期の業況 DI	今期の業況 DI	次期見通し
業況 良い-悪い	▲ 5. 3	▲ 3 5. 7	▲ 2 8. 6
売上高 増加-減少	5. 3	▲ 2 1. 4	2 1. 4
収益 増加-減少	▲ 1 0. 5	▲ 2 1. 4	7. 1
料金価格 上昇-下降	1 0. 5	7. 1	7. 1
材料価格 上昇-下降	2 6. 3	1 4. 3	2 1. 4
資金繰り 楽-苦しい	▲ 1 0. 5	▲ 3 5. 7	▲ 3 5. 7
人手 過剰-不足	▲ 4 2. 1	▲ 4 2. 9	▲ 4 2. 9

※日本銀行静岡支店から当業界の DI は公表されていない。

(1) 飲食・宿泊・レジャー業の概況

- ・業界 DI は 30.4 ㊦悪化の - 35.7 となった。
- ・売上額 DI は 26.7 ㊦の悪化、収益 DI も 10.9 ㊦の悪化となり、いずれもマイナス水準となっ

た。

- ・ 人手 DI は 2 四半期連続して - 4 0 台と、人手不足感は強い。
- ・ 調査員のコメントをみると、猛暑に関するコメントが多くみられた。期待通りの集客ができず、前回の予想以上に悪化幅が大きくなったとみられる。
- ・ 次期の業況 DI 予想は 7.1 割改善の - 28.6 となる。売上額 DI は 42.8 割の改善、収益 DI は 28.5 割の改善を見込む。涼しくなる秋の集客増に期待。